

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



3月16日～31日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

迫力満点のぶつかり合い

ぎふ清流国体のラグビーフットボール競技リハーサル大会が開催され、東海4県の代表選手らによる熱戦が繰り広げられました。パワーとスピードで相手を圧倒し、流れるようなパスワークで相手を翻弄する迫力ある試合が行われ、観客からは選手たちの全力プレーに歓声を上げていました。また、競技会場には市民ボランティアの方々も参加し、大会運営や清掃活動などに協力されました。会場周辺には、応援メッセージが書かれたのぼり旗などが多数設置され、本大会への機運を高めました。



熱さに耐えて無病息災

美濃三不動の1つである迫間不動尊で、毎年3月第4日曜日に営まれる春季大祭があり、恒例の「火渡り神事」が行われました。県内外から約1,300人が参拝に訪れ、無病息災や商売繁盛などを願って、松材を並べた火床を裸足で渡りました。願いが成就するよう手を合わせたり、目を閉じたりして祈りながら、次々と熱い火床の中央を渡っていました。高齢者の方や幼い子どもと一緒に渡る親の姿もありました。



地元のおいしい畜産物

中濃地域産の飛騨牛や奥美濃古地鶏、美濃ヘルシーポークを使った料理、良質な牛乳や卵を使ったデザート作りなど、中濃畜産振興会が主催する「畜産物を使った料理講習会」が開かれました。調理実習に参加した皆さんは、優れた材料とめずらしいレシピに、分量を正確に量りながら、手際よく作業し完成。出来上がった料理に舌鼓を打ちながら、県内にはおいしい食べ物がたくさんあることを実感していました。



ピッカピカの体育館完成!

旭ヶ丘小学校体育館の完成をお祝いする会が開かれ、全校児童約400人が感謝の気持ちを合唱や合奏で体育館いっぱいに響かせました。新体育館は、過去の岐阜国体開催時の旧市民会館の面影を残した外観と記念プレートがあり、バリアフリーにも配慮しています。また緊急時の避難施設として地域にも開放します。子どもたちには、この体育館を大いに活用して元気に体を動かしてほしいと思います。



Qちゃんがランニング指導

シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さんが走ることの楽しさ、素晴らしさを伝える「チームQランニングクリニックin関」が市総合体育館で開かれ、市内中学校の陸上部員ら約100人がストレッチの方法や、正しいランニングの姿勢などを教わりました。高橋さんは、腰高のよい姿勢でももを高く上げるなど、速く走るコツを実技指導しながら、参加者とともに体育館を何度も往復。熱心に練習を繰り返しました。



地域に愛される診療所完成

地域医療の更なる体制強化を図るため、武儀・上之保の両診療所を統合し、新たに「津保川診療所」を武儀生涯学習センター敷地内（富之保）に建設し、その竣工式が開かれました。名称応募表彰者の皆さんによる看板の除幕、尾関市長らによるテープカットなどで完成をお祝いしました。医療体制充実の拠点となる施設の完成で、地域に親しまれる診療所となることを願い、今後も安全で安心な医療体制づくりを目指します。



ミナモのシャッターアート登場

旭ヶ丘幼稚園の車庫で、ぎふ清流国体・清流大会マスコット「ミナモ」のシャッターアートがお目見えしました。国体を盛り上げようと、同園が関高校アート部に依頼し、部員11人が高さ2.5m、幅14mほどの大きさのシャッターに、6体のミナモが競技している姿のイラストを伸び伸びと描き上げました。山や川も描かれた自然あふれるデザインに、ミナモが大好きな園児たちは大喜びしました。

こぼれ話

3月30日（金）の夜から3日間、市役所組織改編に伴う機の配置換え作業があり、対象課員はもとより施設管理・情報担当者なども総出で「引っ越し」をしました。広報係も、秘書係との連携により広報広聴活動を充実させるため、2課が再編されましたが、作業には、人それぞれ性格が表れますね。1週間前から少しずつ片付け準備を始めた人、当日になってあわてて荷作りを始めた人など。私は典型的な「物が捨てられない人」。また違う用途が見つかるかもしれない、いつか使うかもしれないと思うタイプです。いずれにしても、それぞれの部署が市役所の組織として、市民サービスが低下しないよう、より円滑な業務に努めていきたいと思います。

さて、組織改編と同時に今回から、4年ぶりに「広報せき」紙面をリニューアルしました。多くの市民の皆さんに広報紙に目を通してほしいという思いは、歴代広報担当者の一歩の願いです。より読みやすく、親しみやすいデザイン（もちろん内容も）の広報紙発行を目指し、今後も改善していきたいです。「広報」は市民の皆さんの協力で成り立ちます。ぜひ身近な情報をお寄せください。

